

「中央病院通り」開始

戸田市道路命名権で初

戸田市の道路ネーミングライツ(道路命名権)で第1号となった戸田市本町の「中央病院通り」で1日、道路標識の除幕式が開かれた。道路はJR埼京線戸田公園駅から北の戸田中央総合病院へ向かう南北389メートルの市道で、命名した戸田中央医科グループの中村隆俊会長(89)や神保国男市長、地元町会長らが出席し、新しい道路のスタートを祝った。

市は民間事業者に道路の命名権を与える道路ネーミングライツ事業の第1号として、中央病院通りと、JR北戸田駅近くのイオンモール

北戸田店の南側の東西783メートルを選定。今月からスタート



病院代表と市長、地区町会長らによる序幕式。左から3人目が中村隆俊さん、4人目が神保国男市長。右端に病院理事長の中村毅さん＝戸田市の中央病院通り

した。

除幕式で神保市長はこの道の名付け親は地域の皆さんだと感じる。病院と地域がつながるシンボルロードとなることを祈ります」と語り、市と地域住民、事業者の3者協働のまちづくりに役立つこと

を期待した。

車いすで登場した中村会長は「皆さん、駅前に青い桜があるのを存じてでしょうか。ところで今日はエープリルフルでした」と語り、会場の笑いを誘った。長男で同病院理事長の毅さん(58)は「子どもも頃、この道は田んぼのあぜ道でした」とまちの発展を振り返った。

地元の東町町会長、市川悦夫さん(70)は「病院と地域の絆がますます強まった。町会行事などで病院と地域の共存共栄のシンボルにしたい」と祝辞を述べた。

上前町会長で地元で400年以上続く旧家でもある八木橋宣夫さん(69)は「中村会長が小さな3階建ての病院を建てた53年前を思い出す。人が一人通れる細いあぜ道で、周りは一面の田んぼだった」と懐かしんだ。

命名権は10年間契約。中央病院通りが年間30万円、イオンわくわく通りが61万円の命名権料を、市は道路維持管理費に活用する。